

両沼地方稲作情報 第7号 【適期収穫・品質向上対策・稲わらのすき込み】

令和8年9月3日

発行：福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所（電話0242-83-2113）
〃 金山普及所（電話0241-54-2801）

J A会津よつば 各営農経済センター、(有)カネダイ、(有)猪俣徳一商店、(有)山一米穀店、
会津宮川土地改良区、阿賀川土地改良区、会津坂下町只見川土地改良区、袋原土地改良区



← 会津坂下農業普及所のHPでは、これまで発行した稲作情報を掲載しております。
その他、様々な情報を発信しておりますので、お気軽にご覧ください。

◎適期刈取を徹底して、品質低下を防ぎましょう。

1 気象情報

・**経過** 7月は平年より高い気温で推移したものの、8月は平年を下回る気温の日が数日続きました。猛暑日（最高気温35℃以上）の日数も、前年の24日間に対し、本年は6日間にとどまりました。降水量は昨年を上回り、断続的な降雨がみられました。また、日照時間は7月下旬から8月上旬にかけて平年を下回りました（図1）。

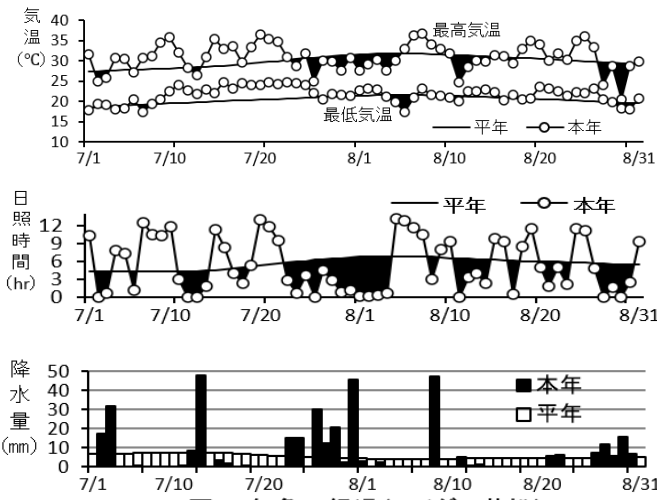


図1 気象の経過(アメダス若松)

・東北地方1か月予報（8/29～9/28）

向こう1か月は暖かい空気に覆われやすく、気温は平年より高い見込みです。天気は数日の周期で変わり、降水量、日照時間はともにほぼ平年並と予想されています。

2 生育状況

・移植栽培では、**出穂期**はひとめぼれが7月30日、天のつぶが8月3日、コシヒカリが8月6日で、いずれも平年より2日程度遅れています（表1）。

・直播栽培（コシヒカリ）では、出穂期が8月4日で平年より8日早く、成熟期も5日程度早まる見込みです（表2）。

・管内では日照不足等の影響により**稈長が長く**なっているほ場がみられることから、今後の気象条件によっては**倒伏が懸念**されます。

表1 作柄解析試験の生育(農業総合センター会津地域研究所)

品種	年次	生育ステージ			成熟期における			
		幼穂期*1 (月/日)	出穂期 (月/日)	成熟期*2 (月/日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	倒伏 (0-400)
ひとめぼれ	本年	7/10	7/30	(9/8)	-	-	-	-
	前年	7/4	7/27	9/6	91.0	18.7	520	148
	平年	7/7	7/29	9/11	90.5	19.2	546	192
	平年差比	3	1	(-3)	-	-	-	-
天のつぶ	本年	7/12	8/3	(9/13)	-	-	-	-
	前年	7/7	8/2	9/13	81.9	18.5	470	10
	平年	7/9	8/2	9/13	77.6	18.9	487	2
	平年差比	3	1	(0)	-	-	-	-
コシヒカリ	本年	7/15	8/6	(9/17)	-	-	-	-
	前年	7/9	8/4	9/15	106.8	18.9	441	195
	平年	7/13	8/4	9/15	100.1	18.9	453	228
	平年差比	2	2	(2)	-	-	-	-

表2 作柄判定ほの生育(会津美里町内、湛水直播栽培)

場所 品種	年次	生育ステージ		成熟期における		
		出穂期 (月/日)	成熟期*2 (月/日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)
会津美里町 直播コシヒカリ*1	本年	8/4	(9/14)	-	-	-
	前年	8/13	9/24	93.2	17.9	334
	平年	8/12	9/20	95.0	18.4	335
	平年差比	-8	(-6)	-	-	-

注. *1 4月30日播種 *2 ()は、見込日(表1の*2に同じ)

注. 5月20日田植え・20.8株/㎡(30cm×18cm) *1幼穂形成始期
*2 ()は、見込日(アメダス若松、日平均積算気温1,000℃到達日(8月31日までは本年値、9月1日以降は平年値で算出))。

3 落水時期

・落水は出穂30日後を目安に行いますが、排水不良田や中干しが十分に行えずに土壤がぬかるんでいる場合は、やや早めに落水及び排水を促して、地耐力の向上を図り収穫に備えましょう。

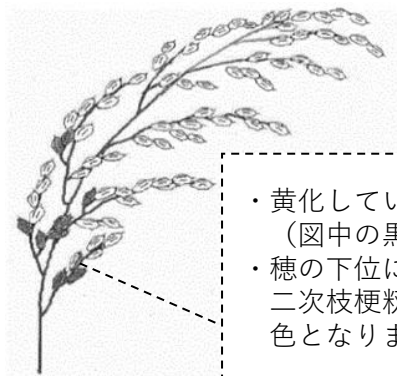
4 適期刈取

- ・ 収穫日は、おおむね出穂40～45日後頃で、適期収穫の目安は、出穂期後の日平均積算気温が950℃～1,100℃に達した日となります（表3）。
- ・ 実際には、水田内の中庸な株の籾黄化率を確認して、黄化率が80～90%になった時期（図2）に刈り取りましょう。

表3 刈取適期の目安(出穂期後の日平均積算気温による判定、8月31日現在)

出穂期		平坦部(アメダス若松)				山間部(アメダス金山)			
	950℃	1,000℃	1,050℃	1,100℃		950℃	1,000℃	1,050℃	1,100℃
(月/日)	(月/日)	(月/日)	(月/日)	(月/日)	(月/日)	(月/日)	(月/日)	(月/日)	(月/日)
7/27	9/3	9/5	9/7	9/10	9/7	9/9	9/11	9/14	
8/ 1	9/9	9/11	9/13	9/15	9/12	9/15	9/17	9/20	
8/ 5	9/13	9/15	9/18	9/20	9/17	9/20	9/22	9/25	
8/10	9/19	9/22	9/25	9/27	9/24	9/27	9/30	10/3	
8/15	9/26	9/29	10/2	10/5	10/1	10/4	10/7	10/11	

注. 日平均積算気温は、8月31日までが本年値、9月1日以降が平年値。



・ 黄化していない緑色の籾
(図中の黒色塗りつぶし)
・ 穂の下位についた一次枝梗籾、
二次枝梗籾は黄化が遅く、緑
色となります(緑色が残ります)

図2 黄化率90%の稲穂のイメージ

表4 品種による登熟の特性

ひとめぼれ	・2次枝梗が少く登熟が 良い反面、刈取適期幅 が短い(積算気温950～ 1.050℃)
コシヒカリ	・2次枝梗が多く、登熟に 日数を要する
天のつぶ	・刈取適期になっても、上 位葉や穂軸に“青み”が 残る
里山のつぶ	・穂発芽しやすいため、 倒伏・刈り遅れには注意 が必要

<留意点>

- ・ 成熟期になっても上位葉や穂軸に“青み”が残ったり、2次枝梗の着粒数が多いと登熟に日数を要するため、刈取適期の判定は品種特性にも注意が必要です（表4）。
- ・ 籾水分は玄米水分計で30%以下になると計測できます。立毛中における籾水分25%が刈り取り開始の目安になります。籾水分20%以下になると胴割粒が発生しやすくなるため、刈り遅れないよう注意が必要です。

5 乾燥と食味の関係

- ・ 乾燥速度が速いと籾の表面だけが先に乾燥し、水分差による歪みが生じることで、胴割れが発生しやすくなります。また、胴割れ米は精米時に碎米となりやすく、米飯の外観や粘りが劣り、食味の低下につながります。胴割れ米の発生を防ぐため、乾燥は緩やかに行いましょう。また、乾燥途中で一時貯留する二段乾燥を活用し、籾内部の水分を均一化することが重要です。

6 秋の稲すき込み

- ・ 稲わらのすき込みは、秋に行くことで春のすき込みよりも腐熟が進み土壌還元による生育の障害が軽減されます。収穫後できるだけ早く浅耕（5cm～10cm）しましょう（※深耕すると、下層の稲わらの分解が進みません）。稲わらは貴重な有機資源です。有効に活用しましょう。

○モニタリング検査の結果が出るまでは、令和8年産米の出荷・販売・無償譲渡の自粛にご協力をお願いします。自粛解除の状況は、福島県水田畑作課のホームページで公表されます。

○本年は須賀川市、来年は会津若松市で「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」が開催されます。この機会に、ぜひ出品を検討してみてはいかがでしょうか。